

神崎市の特徴や誇れるもの

- ・市の東部には弥生時代の環濠集落跡国営吉野ヶ里公園があり、旧長崎街道が市内の東西を走っている。旧神埼宿や旧境原宿の古い町並みをはじめ、市内には遺跡や建造物、寺社など数多くの歴史的・文化的遺産が残されている。
- ・櫛田宮の「太神楽」、仁比山神社の「御田舞」、高志神社の「高志狂言」、小森田の「女浮立」などの郷土芸能や伝統行事が大切に継承されている。
- ・「下村湖人」「吉田絃二郎」「伊東玄朴」など、郷土が生んだ偉人の顕彰を行い、スケッチ会を開いたり、読書感想文や感想画の募集を行ったりして、表彰・展示等を行っている。

千代田東部小学校の取組

- ・千代田東部小校区は、郷土の偉人である下村湖人先生の生誕の地である。この地を舞台にした代表作である「次郎物語」は、児童、保護者、そして地域に根付いている。「次郎物語」に関する建物や場所が、校区内に数多く残されている。
- ・千代田東部小学校では、地域の特色を生かした教育として「次郎の里」教育を実践している。

湖人生家の館長様をお招きしての講話や生家での体験学習を年間通して行っている。

1学期には「次郎とのふれあい遠足」「次郎とのふれあい集会」の実施、2学期には下村湖人生誕祭に参加し、次郎物語の劇や次郎の歌を披露している。

また、年に2回朝の時間に「次郎タイム」を実施し、次郎かるたや次郎検定などを行っている。



教育委員会所在地: 神崎市神埼町鶴3542番地1

連絡先: (0952-37-3592)

学校数: 小学校 7校、中学校 3校

神崎市教育委員会の取組

- ・小学校社会科の副読本『わたしたちの神崎市』に掲載されている「神崎市を代表する偉人」「伊東玄朴」「下村湖人」の漫画を制作し、市内小中学校の図書館に配布し、ふるさと学習用に貸し出しをすることで、郷土の偉人のことを知り、郷土を愛する心を育てるとともに、子ども自身の生き方を考える学習に活用していくことをねらいとしている。
- ・下村湖人作の『次郎物語第1部』と吉田絃二郎の童話集『天までとどけ』を、小学校入学時に全児童に配布し、学校や家庭で読み合う中で、ふるさとを愛する心、豊かな心を醸成するように努めている。

一 神埼・ふるさと学習 一

- ・神崎市の児童・生徒が、郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土を誇りに思う心情を育むことを目的に、平成28年度から市内全小中学校で『神埼・ふるさと学習』に取り組んでいる。
- ・児童・生徒一人一人が研究課題を設定し、調査活動を行い、研究した内容を論文にまとめる活動に取り組んでいる。
- ・子どもマイスター選考委員会により、優秀な研究に対し、「子どもマイスター」と「優秀子ども学芸員」を選出し、認定証を贈っている。

